



ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

Rotary



CHINO



インスピレーションになろう

2018～2019年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ

創立1981. 1. 26

茅野ロータリークラブ活動指針

「行動し充実したロータリー活動を楽しく」

2018 — 2019 会長 五味 徳雄 幹事 北原 正博

Vol.19 1765 2018.12.12

五味会長挨拶

今朝は暖かい雨降りでしたが昨夜は今冬の雪がありました。冬將軍の到来です。年の瀬で多忙な事と思いますが元気に過ごしましょう。

ノーベル生理学賞を受賞された本庶教授、明るい話題でした。本庶教授のインタビューの中に決めてあきらめないで研究をつづけた。その結果だと語っておりました。その話を聞き孔子の言葉を思い出しました。

「苗にて秀でざる者あり、秀でて実らざる者あり」の言葉があります。稲の苗はやがて花をさかせます。中には花を咲かすことなくしおれてしまうものもあります。花が咲けばやがて実がなります。しかし実を結ばないまま枯れてしまうものがあります。稲は花を咲かせ実を結んでこそ意味があります。同じように人には才能を生かし努力を貫き通してこそ何かを達成できます。それを苦しいからと途中でやめては花が咲かず実らない稲のようにせっかくの才能や努力を捨ててしまうことになります。もう少しがんばれば花が咲きます。もう少しがんばれば実がなります。ネバーギブアップです。

※別紙幹事報告書

クラブ協議会

卓話

「次年度への要望事項」

会計幹事
牛山武明会員



○ロータリー財団・米山諸学金の寄付額については、本年の額に拘らず、新年度に充分検討を重ね、一人当たりの寄付金額を決めてください。

○ロータリー財団の次年度地区補助金事業の実施については、地区研修等に参加し、実施のための申請を検討してください。

○ロータリー財団・米山奨学金の委員構成について当クラブは双方の委員会を一つの委員会構成になっていますが、それぞれの委員会に分離すべきだと思います。

平成 30 年 8 月 25 日、松本大学にて、ロータリー財団・米山奨学会地区セミナーに出席いたしました。午前中にロータリー財団、午後に米山奨学会でした。セミナーはそれぞれ豊富でした。出席者をみますと、各クラブとも、それぞれの委員長が出席されていました。茅野クラブの兼ねているクラブは少なかったように見受けました。

当クラブの規模的の面から地区 55 クラブ中会員数 55 人は大規模クラブです。人材不足はないと思います。是非次年度から分離にして検討してください。

地区資金予算について
一般会計

収入の部 収入合計 50,840,000 円
内 地区資金(人頭負担金)47,040,000 円
24,000 円×1,960 名

地区資金の人頭負担金についての思い出

2000 年(18 年前)ガバナー補佐就任時の出来事
ガバナー補佐会議での負担金値上げの要請、値上げの反対意見の発言、あるパストガバナーからお叱りをうけた。私にはお叱りを受けた理由が分かりませんでした。後になって、多分地区諮問委員会で決定したことに反対したことだと想像いたしました。

卓話

「地区予算の説明」

危機管理委員会
青少年奉仕委員会委員長
桑澤一郎会員



インターアクト委員会を足掛け 7 年やらせて頂いた。おかげで区での人脈が多く出来ましたね。

国際ロータリーの構成

27 委員会ある、非常に多くの委員会がある。240 名の委員さんがいます。260 地区には 2,000 名いますが 1 割の方が地区委員にたっず触っています。

地区予算の説明

クラブ計画書 18、19 ページ参照

・青少年奉仕に多くの資金を使っている。ないかつ青少年育成基金がありより多くの投資している。

4 年後ガバナーを受ける

予算、27 委員会の管理を行い、70 以上の地区行事あります。

皆さんも是非たのしんで下さい。

ニコニコBOX

人数
26人
金額
35,000円

- ◎五味徳雄会長 暖かい冬で頭が痛いです。
- ◎小海昌訓会員 12月1日71回目の誕生日でした。
- ◎杉本浩美会員 お誕生日のプレゼントありがとうございました。
- ◎福島和彦会員 ゴルフ場は日曜日にクローズしました。一年間ご愛顧有難うございました。
- ◎北原重信会員 釜山マリンシティロータリークラブとあいさつして来ました。
- ◎長崎寛文会員 シルクドソレイユ大勢の参加をお願いします。

出席報告

会員数 56名
出席 47名
出席率 84%

卓話

「インターアクトクラブについて」

インターアクト委員会委員
竹村一男 会員



国際ロータリー 2600 地区インターアクトクラブは青少年奉仕委員会の中にあり青少年奉仕委員会、ライラ委員会、ロータリーアクト委員会と並んで活動している委員会です。現在インターアクト地区役員は 10 名にて構成され、年数回の地区委員会の開催と、インターアクト独自研修補助金申請の審議、夏季合宿、スノーモンキーの実施、ライラへの参加を行っております。

インターアクトは、12 歳から 18 歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクトクラブは、支援や指導を与えるロータリークラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。クラブ会員の構成はさまざまです、男子のみ、女子のみのクラブもあれば、男女混合からなるクラブもあり、その規模も大小さまざまです。会員基盤は 1 つの学校の学生から集められる場合もあれば、同じ地域社会内の二つ以上の学校から成る場合もあります。

毎年、インターアクトクラブは少なくとも二つ以上の社会奉仕プロジェクトを行い、そのうち 1 つは国際理解と親善を推進するものとされています。プロジェクトを通じて、インターアクトは地元社会や海外のクラブと友情のネットワークを築きます。奉仕活動は、インターアクトの活動の神髄です。奉仕活動を行う事でインターアクトたちは①指導力と人間としての高潔さ②他者を助け、他者を尊重すること③個人の責任と懸命に努力する事の価値④国際理解と親善を推進することを大切な事として学んでいます。

現在、ロータリーの奉仕の活動の中で最も顕著かつ急速に発展しているプログラムの 1 つとなっています。

県内には、現在 10 校のクラブが登録されていて、それぞれが独自の活動を行っています。夏休み等を使って海外での国際交流を行う学校からボランティア、地域交流など身近な課題を見つけ、解決に取り組むなど幅広く活動しています。

独自研修補助金申請は毎年 7 月までに申請、地区インターアクト委員会にて審査決定されます。特に国外への研修は、渡航する国、都市、交流先の IACRC 団体、研修目的（具体的な内容）、研修後の展望、生徒の海外渡航の経験語学力などが審査され決定されています。

私は、委員となって日が浅い為、本当の詳しいお話は出来ませんので、夏合宿のお話をさせていただきます。今年度の夏合宿はテーマを【自分の価値を知るために】とかかげ、例年は一泊二日で行われますが、今年是一日での日程で行われました。この合宿には県内の IAC 員約 40 名と 5 名の地区内の青少年交換留学生が集まり、①クラブ員の規陸を深めるとともに、学校間の垣根を越えて活動できる環境を整える。②他校や他県の IAC の国際奉仕活動および地域奉仕活動を学び、今後のクラブ活動の参考とする。内容で行われました。ワークショップではオブザーバーとして研修に参加しておりますと、グループ分けされた班内では、リーダーシップをすぐに発揮して

いる生徒さんは、やはり留学経験、ホームステイ経験が有る生徒さんが積極的に引っ張り、和んでくるとグッと盛り上がるように見えました。

お話を聞いていると、多くの方が最終的には海外渡航を日指したいが、現在は外国に行く前に、①国内の事をもつとよく知る②出来る事からまず始める③使わない海外へ送る④被災地へマスクを送る⑤合宿・キャンプの実施⑥近い学校での交流⑦海外で覚えてきた遊びをするなど今は身近な問題で【インターアクト活動を考える】事で進もうという方向で進みました。

グループ内には交換留学生が混じっていますが、まだ来日して間も無い方も居て、和製英語からボデーランゲージまで飛び出し時間を忘れてワークショップは進みました。各グループがまとめとして

- ① 学校や地元地域にてボランティア活動をする
- ② 異文化について学び、国際親善に貢献する
- ③ 学校や地元地域でリーダーシップを発揮する
- ④ 楽しみながら世界に友達をつくる

を発表し独自研修と交流を終えました。

「茅野 RC では現在東海大学諏訪高等学校のインターアクトクラブの提唱クラブとして係っておりますが、東海高校では、文化祭でのクレープ販売の収益の中から寄付活動をしています。当クラブは材料代を支援していますが、今年度小尾青少年奉仕委員長は一步踏み込んで インターアクト例会の実施を進めています。また日程、時間等難しいかとは思いますが、合宿等にも参加し、他校との交流、交換が出来ればそれは良い起爆剤になるのではと思います。」

余談になりますが、長野女子高等学校 IAC では、3 年前はたった 1 名のクラブ員しか居なかったのですが、3 年目で 8 名となり活発に活動され地元紙はもとより信毎にも活動が掲載される程 活発に活動されています。

メンバーからはクラブの活動はもとより、提唱クラブであります長野西 RC のメンバーとの交流が大きな力となっているとのことでした。

「我々も、地元には IAC が有るのですから、皆でコミュニケーションを取り合い明るく楽しいやりがいのある IAC を作りインターアクトの趣旨を尊重しながら身近な課題を見つけ共に解決していける姿勢を作れるよう、見守っていただけたら良いのではと思います。」

上手くまとまらない、卓話になつてしまいましたが、ご清聴ありがとうございました。